

北九州マイスター
堀川英樹さん
(株)ホリカワ



**力だけではロープは編めません。
折り合う心や、応用力が必要で、
こちらの力量を試されますね。**

どんなワイヤーロープも、
末端の“輪つか”が決め手

北九州マイスター制度の第一回

認定者となつた堀川英樹さんは、
まさにこのワイヤーロープとともに
に人生を歩まれてきた方です。

かつての仲間の悲運が

思い返せばまだ働き始めた若い頃、
ワイヤーロープが目の前で切れたり、
先輩が命を落とすという悲痛な
思いであります。輪がなければ、いろんな
なものも吊り下げられないでしょ
う?」

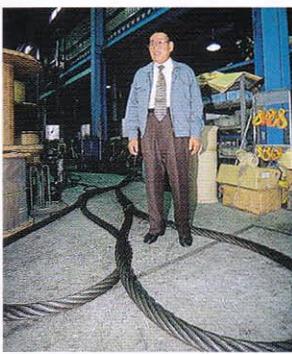
自転車から吊り橋まで、
暮らしへの“命綱”として活躍

レバーターを上下させるのもそ
だし、自転車のブレーキとタイヤを
直結するのも細いながら立派なワ
イヤーロープ。その他、建設現場や
でも実際には、暮らしのごく身近
なところで、私たちも毎日のよう

に接しているのです。たとえば、工
業用ロープ無くしては成り立ちません。

「ワイヤーロープ」といつても、一
般にはちょっと縁遠く思われがち。
でも社会のあらゆる場面で、ワイヤ
ーの先に輪つかを作つたり、必要
な長さに応じてロープ同士を繋い
だりします。輪がなければ、いろんな

「私の仕事は、ワイヤーロープの『端
末』を作ること。つまり、長いワ
イヤーの先に輪つかを作つたり、必要
なものを吊り下げるなど、工
業用ロープ無くしては成り立ちません。



北九州マイスター制度とは

モノづくりのまち・北九州市ならではの独自の制度。これまで市の産業発展に貢献してきた優れた技能者が持つ技術・技能を地域の“宝”として継承していくことが狙い。溶接、機械加工、半導体仕上げなど工業製造業の分野が中心になっているのも特色で、現在20人が認定を受けている。認定者は、次世代のマイスターを育てる「匠塾」の講師としても活躍している。



profile

堀川英樹さん

昭和5年満州生まれ。高校卒業後、とび職として全国各地で修業。その間にワイヤーロープの技を磨く。42歳で独立し、現在の「(株)ホリカワ」を創業。全国でも屈指のワイヤーロープ技術者として経験を重ね、全国ロープ加工組合連合会副理事長や国家検定委員などを歴任する。2001年「北九州マイスター」に認定。

「ワイヤーロープは生き物。私た
ちに働き方や生き方までも教え
てくれますよ」と、これからも後
進の指導にますます意欲を燃や
しておられます。

これが実は非常に高度な作業。も
ともとワイヤーロープは、油をしみ
こませた麻綱を芯に、細いワイヤ
ーを何本もより合わせ、さらにそ
れらを編んで一本にしたもの。太さ
も数ミリのものから、直径なんと
1mという巨大なものまで千差万
別です。

堀川さんは、輪を作つた先端を一
本ずつほぐし、再び元のロープに差
し込みながらより合わせていきます。
強靭なワイヤーが相手だけに、冬
でも汗びっしょりの力作業。でも、
やみ雲に力を入れるのではなく、
鋼の弾力や反発をうまく利用し
ながら、素手と鉄棒の工具で編み
込んでいくのです。

「もしおろそかに編んだら、現
場でゆるんだり切れたりして、恐
ろしい事故にもなりかねません。一
本のワイヤーロープに人の命がか
かっているんです」。

ワイヤーロープへの情熱に
思ひ返せばまだ働き始めた若い頃、
ワイヤーロープが目の前で切れたり、
先輩が命を落とすという悲痛な
思いであります。輪がなければ、いろんな

体験をされたとか。そんな事故を
絶対に無くそうと、40年近く研
鑽を積み、この業界自体の技術指
導にも当たつてきました。その甲
斐あって、ロープの事故も激減。今
では全国で規格も統一され、堀川
さんも技術者の国家検定委員を
務めるほどになりました。

「ワイヤーロープは生き物。私た
ちに働き方や生き方までも教え
てくれますよ」と、これからも後
進の指導にますます意欲を燃や
しておられます。